

未来に向かってはばたけ!!かごしまっ子 ～いきいき教育活動表彰～

総務福利課

平成25年度の「いきいき教育活動表彰」の表彰式を実施しました。

2月12日(水)に個人35人と13団体の表彰を行いました。

この表彰は、県内の市町村立学校及び県立学校の児童、生徒を対象に教育、文化、スポーツ活動等の各分野において顕著で優秀な成績を収めた個人・団体の栄誉をたたえ表彰を行う制度で、平成7年度から行っています。また、この表彰を通じて、児童・生徒一人一人のより一層の個性の伸長を図り、心豊かでたくましい青少年を育成することを目的としています。

表彰される者はもとより、他の児童・生徒にとっても目標を持たせ、励みを与えるものとなっています。

本年度は、個人団体を併せて48件(個人35人、団体13)を表彰しました。

校種別では、小学校は13件、中学校は8件、高等学校は20件、特別支援学校は7件が表彰の対象となりました。



平成25年度 いきいき教育活動表彰表彰式 於 県庁講堂 平成26年2月12日

堂々と発表、いきいきと発表しました。

～伊仙町立喜念小学校の永田心花さんの島唄発表、始良市立重富中学校の本武里織さんの空手演武、県立松陽高等学校音楽部の皆さんによる合唱の発表がありました。～

表彰式当日は、受賞した個人35人と13の団体を代表して、3組の代表がステージ発表を行いました。代表者は、日頃の教育活動の成果を存分に発揮しながら、堂々といきいきと発表しました。また、3組の代表者の紹介アナウンスを、第60回NHK杯全国高校放送コンテスト<朗読部門>で優勝した県立鶴丸高校の遠矢梨華さんが行いました。



(喜念小学校の永田心花さん)

「平成25年度民謡民舞少年少女全国大会」<民謡小学4・5・6年生の部>において、「ヨイスラ節」を唄い、準優勝されました。



(重富中学校の本武里織さん)

「第44回少林寺流全国空手道選手権大会」<中学生の部>において、優勝されました。



(松陽高等学校音楽部の皆さん)

「第66回全日本合唱コンクール全国大会」<高等学校部門Aグループ>において金賞、広島県知事賞を受賞されました。

■ 島津委員長から受賞者に激励のメッセージ！！

表彰式では、受賞者一人一人に島津教育委員長から表彰状と記念のトロフィーが授与されました。表彰状の授与終了後に、島津教育委員長があいさつを行いました。

あいさつの中で島津委員長は、56年ぶりとなる2020年のオリンピック・パラリンピック東京開催を手繰り寄せた佐藤真海さんのスピーチや中国の古典である「論語」の言葉を引用しながら語りかけ、自分の描いた高い目標や大きい夢に向かって、その実現に向けた強い意志力の大切さを、次のような言葉で子どもたちに力強く激励されました。

島津委員長のあいさつから

勉強でも、スポーツでも、研究でも、何をするにしてもどんなことがあろうとも辛抱強く継続して続けるということは並大抵のことではありません。がんばっても成果がすぐに出ないことの方が多いかもしれません。時にはスランプに陥り、あきらめの心が生まれることがあるかもしれません。そんなとき「自分の力はこれくらいのものだ」と自分で自分の可能性や能力に限界の線を引かないこと、そのことが皆さんの可能性を最大限に伸ばすためにはとても大切なことだと思います。

(中略)

本日表彰を受けた皆さんが、本日の表彰を一つの機会に、これからも高い理想を掲げて挑戦し、最後まであきらめない強い意志を持った人間になるとともに今後も県民の方々に希望や勇気を与える存在として、成長・飛躍されることを心から期待しています。

島津委員長の話を聞いている受賞者の皆さんの目は皆真剣そのものでした。話を聞きながら、本表彰を受ける栄誉とともに、受賞者である児童・生徒一人一人に寄せられる期待の大きさを実感しているように見えました。

■ これからも高い目標をもって、はばたけ未来に！！

- 霧島市立国分中央高等学校の前田千島さんがあいさつ -

表彰式の最後に、受賞者を代表して、霧島市立国分中央高等学校の前田千島さんがあいさつをしました。前田さんは柔道の選手で、「2013年ドイツカデ国際大会」<52kg級>において、優勝、「2013年世界カデ柔道選手権大会」<52kg級>において、3位に入賞するなどすばらしい活躍をしました。

あいさつの中で前田さんは、部員5人の中で乗り越えた苦難や悩みを語りながら、仲間と共に乗り越えてきた経験とこれからの目標を力強く語りました。前田さんの心を込めたその言葉は、会場全体に強く、響き渡りました。また、前田さんの話を聞きながら、受賞者全員が、今後のさらなる飛躍を胸に誓っているように見えました。かごしまっ子のこれからのますますの活躍を期待します。

前田さんのあいさつから

私の今の目標は、もう一度日本一になることです。高校生として出場する春の高校選手権・夏のインターハイで日本一のタイトルを手にし、もう一度日本代表として世界に挑戦したいと思います。そして将来的には2020年に日本で開催される東京オリンピックに出場し、金メダルを取れるような選手になりたいと思います。同じ年には鹿児島国体もあります。これまで私を育ててくれたこの鹿児島に恩返しできるように、これからも現状に満足することなく鹿児島のスポーツの振興・発展に貢献できるように、県民の皆さんに感動を与えられるように、今まで以上に日々努力を重ねていきたいと思っています。



(一人一人に表彰状を授与する島津委員長)



(受賞者に語りかける島津委員長)



(国分中央高校の前田千島さん)